

1. 遣唐使 2. オランダ商館長 3. 琉球使節 4. 朝鮮通信使

1. 全ての人間は平等であり、実力主義を肯定する考え方 2. 海外との交易を推奨し、富国強兵を目指すべきだとする考え方 3. 迷信を否定し、実験や観察に基づく合理的な考え方 4. 上下関係や身分の秩序を厳格に守るべきだとする考え方

1. 幕府は異国船打払令に基づき、ラクスマンの乗る船を武力で撃退し、一切の交渉に応じなかった。

2. 幕府はラクスマンの要求を全面的に受け入れ、即座に根室と函館を開港してロシアとの貿易を開始した。

3. 幕府はロシアの要求に驚き、即座に老中の松平定信を根室に派遣して正式な国交を樹立した。

4. 幕府は根室での交渉を拒否したが、長崎への入港許可証である「信牌」を渡し、交渉の場を限定した。

1. キリスト教を国教として採用するために、国内の仏教勢力を抑え込んで貿易を円滑に進めるため	2. 貿易の利益を幕府が独占するとともに、キリスト教の教えが幕府の支配体制を揺るがすことを恐れたため	3. ヨーロッパ諸国との外交関係を完全に断絶し、自給自足の経済を確立して鎖国を完成させるため	4. 幕府の権威を高めるため、キリスト教の教えを政治の基本方針に取り入れようとしたため
--	--	--	---

1. 対馬藩 2. 長州藩 3. 松前藩 4. 薩摩藩

1. オランダ 2. イギリス 3. ポルトガル 4. スペイン

1. 富嶽三十六景 2. 東海道五十三次 3. 婦人相学十体 4. 見返り美人図

1. 朝鮮や中国との貿易を廃止し、オランダ一国のみとの独占的な外交関係を樹立するため	2. キリスト教の教義を正しく理解し、将来的に日本国内での布教を容認するための準備とするため	3. 一般の町人や農民にも広く海外の知識を普及させ、国全体で近代化を進めるため	4. 海外の情報を幕府が独占することで、民衆や諸藩による不測の動きを抑え、国内の統治を安定させるため
--	--	---	--

1. ペリーが浦賀に來航して開國を迫った際、幕府内に海防の準備が整っておらず、ひとまず時間を稼ぐ必要があったため。
2. 蛮社の獄によって渡辺崋山ら開明的な学者が幕府の政策を批判したことにより、世論が開國へと大きく傾いたため。
3. 徳川吉宗が享保の改革において実学を奨励し、漢訳洋書の輸入制限を緩和したことで、外国の事情が一般に広く浸透したため。
4. アヘン戦争で清がイギリスに敗北したという情報を得て、強硬な態度を続けることで武力衝突を招くことを恐れたため。

1. キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため	2. 中国やオランダを通じて、東南アジア諸国へキリスト教を輸出するため	3. キリスト教を日本独自の宗教と融合させ、新たな国教として普及させるため	4. 鎖国によって海外との交流を完全に断絶し、日本の自給自足体制を完成させるため
--	-------------------------------------	---------------------------------------	--

1. 紀貫之 2. 松尾芭蕉 3. 伊能忠敬 4. 雪舟

1. 清との貿易は、中世の勘合貿易と同様の形式で、幕府が直接全ての船を派遣していた。
2. 幕府から朱印状を与えられた商人が、清や東南アジアとの間を往復して貿易を行った。
3. 出島でのオランダ貿易とともに、唐人屋敷などを通じて清との取引が行われた。
4. 中世から続く伝統的な形式を維持し、各地の港で自由な入港が認められていた。

1. 外国との貿易を拡大させるため、特定の商人に限定せず広く一般の農民にも商業を許可した。
2. 物価の高騰を抑えるために商人の結集を禁じ、市場における商品の流通を完全に国営化した。
3. 商人の自由な経済活動を促進するため、古い座の仕組みを廃止して自由競争を促した。
4. 商人に営業上の独占権を与える代わりに税を徴収し、幕府の財政を潤そうとした。